

●展示会に行って意見を出しましょう●

～子どもたちのゆたかな学びを支える よりよい教科書を～

子どもたちには、学問の成果を反映して真実を伝え、それをもとに考えを深めていかれる教科書、みんなが楽しく学べる教科書を手渡したいものです。そもそも教科書採択は、子どもたちと一緒に教科書を使う教職員や保護者、市民の意見をもとにして行われるべきではないでしょうか。

記述内容に批判的な意見が集中して、変更された例もあります。みんなで話し合って展示会に行き、教科書を手にとって、率直な感想・意見を寄せていきましょう。(以下の記入例も参考にしてください)

- 教科書採択にあたっては、子どもたちと一緒に教科書を使う先生たちや保護者、市民の意見をしっかり聞き、それを尊重して選んでください。
- 中学校の教科書はページ数が多く、内容も難しそうです。勉強ぎらいの子が増えてしまわないか心配です。子どもたちや先生の負担が大きくなるようにして下さないでください。
- 今後も、長期の休校があるかもしれません。「教科書通りに」「すべて終わらせて」ではなく、本当に大切なことを先生たちが工夫して授業できるようにしてください。
- 授業の流れや設問が詳しく書かれていますが、それにしばられず、先生が目の前の子どもたちにとって最もふさわしいやり方を選んで授業できるようにしてほしいです。
- 「道徳」に限らず、子どもの心を評価するのは、やめてほしいです。「〇〇」社など、そのためのページや記入欄がたくさんある教科書は採択しないでください。
- 教科書では真理・真実を大切にしてほしいです。「〇〇」社の教科書は学問の成果が反映されておらず、子どもたちに使わせるのは心配です。採択しないでください。
- 侵略戦争を肯定し、基本的な人権や民主主義をないがしろにして、憲法「改正」をおしつける「〇〇」社、「〇〇」社の教科書は、絶対に採択しないでください。
- 「〇〇」社の「〇〇」科の内容に問題を感じました。具体的には、……

中学校新教科書を読む

来年度から中学校で使われる新しい教科書の採択が行われます。発行された教科書は、以下の通りです。その特徴をまとめてみました。展示会で実際に内容をたしかめ、意見を出すとりくみを広げていきましょう。

教科		発行者	
国語	国語	4	東書、教出、光村、三省堂
	書写	4	三省堂、東書、教出、光村
社会	地理	4	東書、帝国、日文、教出
	歴史	7	教出、育鵬社、東書、帝国、山川、日文、学び舎
	公民	6	帝国、日文、東書、教出、自由社、育鵬社
	地図	2	東書、帝国
数学		7	大日本、教出、東書、啓林館、学図、数研出版、日文
理科		5	啓林館、大日本、学図、教出、東書
音楽	一般	2	教芸、教出
	器楽	2	教出、教芸
美術		3	光村、開隆堂、日文
保健体育		4	大日本、大修館、東書、学研
技家	技術	3	東書、教育、開隆堂
	家庭	3	教育、東書、開隆堂
英語		6	開隆堂、教出、東書、光村、三省堂、啓林館
道徳		7	あかつき、教出、東書、日文、学研、日科、光村

●ページ数がふえて、いっそう「詰込み」に?!

中学校で使われる教科書のページ数の合計は11,280ページで、前回より844ページ(7.6%)増えています。グラフのように、検定の度にページ数が増え、2004年度の「ゆとり教育」の時期と比べると**1.5~1.6倍**とされています。



しかも、2010年度検定の教科書が使われるようになって以降、中学校の授業時間数は増えていません。教科書のページ数がこんなに増えてしまったら、いっそう「詰込み」がひどくなり、**子どもたちの負担が増えてしまう**のではないかと心配です。

●「授業の流れ」や「主体的・対話的で深い学び」の例が詳しく示されている



【東京書籍・理科・1年】

ページ数が増えた理由の一つは、「授業の流れ」や「主体的・対話的で深い学び」の例が詳細に示されていることです。

どの教科にも、「①問題を見出そう→②解決のしかたを探ろう→③解決しよう→④深めよう」などのサイクルが示されています。

そして、課題の設定のしかた、仮説の立て方、検証のしかた、レポートの書き方や発表のしかたまで、詳しく記されています。それらをすべて「教科書の通りにやりなさい」などとおしつけられてしまったら、時間も足りなくなるし、先生と子どもたちがみんな一緒に考え、本来の意味で「学びを深める」ことができにくくなってしまわないでしょうか。

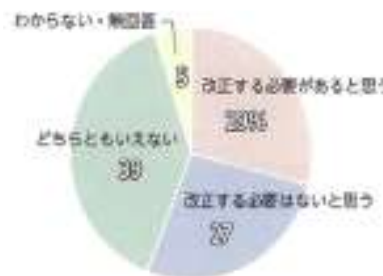


【育鵬社・歴史】 【育鵬社・公民】 【自由社・公民】

●「道徳」の【日本教科書】も、日本の植民地支配を正当化するような題材を多用し、特異な歴史観にもとづいて編集されており、問題です。

●「改憲」をおしつける

【育鵬社・公民】



「憲法改正の必要があると思うか?」

2018年のNHKの意識調査

「憲法改正」の件数を単純に比較した表を載せたり、学習のまとめとして「改正した方がよいと思う条文と改正案」のカードを作ってグループで話し合う活動を提起するなど、「憲法改正が必要だ」と誘導するような書き方をしています。

他の教科書は、「(憲法の大原則にかかわるような)改正は許されないと解釈されている」などと、「憲法改正」の限界に触れています。

●政府の見解をおしつけず、子どもに考えさせたいのに…

社会科の学習では、対立する両方の意見を紹介し、その背景を考えさせることが重要です。領土問題について、他の教科書は日本と他国の主張を紹介し、学習の課題として考えさせようとしています。【育鵬社】と【自由社】は日本政府の見解を子どもたちにおしつけるような書き方です。

【日本文教出版・公民】



真実をゆがめ、「憲法改正」をおしつける教科書は、
子どもたちに手渡せません <育鵬社・自由社の問題点>



【育鵬社・歴史】

アジア太平洋戦争について「大東亜戦争」と副題をつけ、「自存自衛の戦争」「アジアを解放するための戦争」と説明しています。

アジアの人々の抵抗があったことや民衆の苦難をとりあげず、沖縄戦についても、「逃げ場を失い、集団自決に追い込まれた」などと、犠牲になった人の責任のような書き方を

しています。(他の教科書は「日本軍によって集団自決に追い込まれた」)

●主権者としての力を育てたいのに…

教科書の最初に、「公民」とは「国や社会を支え」、「公のために行動できる人」と説き、「国民主権」について学ぶページの半分を象徴天皇制にあてています。

他の教科書が「主権者」として政治に参加する方法は「選挙で投票するだけではない」と、さまざまな例示をしているのと対照的です。



【帝国書院・公民】

技術科に「プログラミング教育」

●難しそうだけど、大丈夫？



最もページ数が増えたのは、技術科(26%増)です。「プログラミング教育」が本格的に導入され、かなり難そうな内容まで含まれています。しかし、**中学校の技術の授業は1～2年生が週1時間、3年生は隔週1時間**。これだけの内容をやり切れるのでしょうか？

小学校への導入で、中学校英語も難しく…

●扱う単語の数はこれまでの2倍に

小学校の英語が「教科」となり、中学校の英語も大きく変わります。小学校で学習する単語と合わせると、**中学を卒業するまでに学習する単語は2200～2500語**となり、



【教育出版・英語・1年】

今の2倍以上に増えます。また、これまでのように日本語と英語の文の

構造の違いを確認し、やさしいことから少しずつ積み上げていくのではなく、まずは「会話」や「聞き取り」です。

これでは「英語嫌いが増えてしまわないか」「格差が広がりそう」と心配されています。

新たに学習する単語の数

	現行	新教科書
小	無し	600～700
中	1200	1600～1800
高	1800	1800～2500

「特別の教科 道徳」はどう変わった？

● 題材はあまり変わっていない…

昨年度から本格実施された「道徳」の教科書は、2年前にも採択がありました。その時と比べ、【日本教科書】と【あかつき】はほとんど変わっていません（題材を1つだけ差し替え）、【教育出版】は4つ、あとの4社は、全学年で数個ずつ題材を差し替えました。

文章は同じでも、題名を変えたり（「**権利と義務を考えて**」→「**義務について考えよう**」【東京書籍・1年】）、質問やコラムを変更した例（【学研】）もあります。

題材に書かれていることの社会的背景などにはふれず、文科省が定めた**内容項目（徳目）の枠の中で考え、話し合わせる**ことによって、子どもたちに**特定の価値感や行動を押しつけよう**としている、という「道徳」の問題点は全く変わっていません。



【学研・1年】

● 数値で「自己評価」する欄は…

2年前に批判が集中したのは、授業への取り組み方や内容項目（徳目）の達成度を、数値で子どもたちに「自己評価」させる欄が多く見られたことです。今回、次のような変更がありました。

【あかつき】 題材ごとの態度の評価＋学期の終わりに徳目の達成度の評価

⇒ **題材ごとに「心に残った度合い」の評価**

【教育出版】 題材ごとに「心かかやき度」を評価 ⇒ **感想記入**

【日本教科書】 学年の終わりに徳目の達成度を評価 ⇒ 現時点では変わっていないが、「**修正する予定**」と報道されている

【学研】 評価欄は無かった ⇒ **学期の終わりに取り組み方を評価**

● 学問の成果を反映し、真実を伝える教科書を ～社会科の教科書を読む～

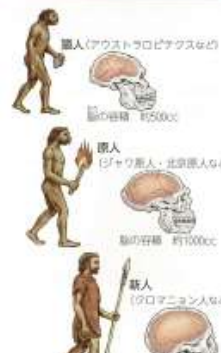
社会科の教科書を比べると、いくつかの違いに気づきます。歴史の最初は、ほとんどの教科書が「**人類の出現と進化**」。数百万年前に人類の祖先が出現したと記述しています。日本列島が大陸から離れ、今のような形になったこと（1万1000年前）は別項目です。

ところが【育鵬社】の最初は「**日本列島ができたころの人々**」。



【東京書籍・歴史】

1 日本列島ができたころの人々



【育鵬社・歴史】

に人類の祖先が出現したかのような誤解を与える構成になっています。しかも、「私たちの祖先は…わが国の歴史を刻み始めました」など、“人類の歴史”ではなく「**国の歴史**」を学ばせようとしています。神話についても、他社は「天皇が治めることの正統性を明らかにしようとするために作られた」と書いていますが、【育鵬社】は**歴史的事実であるか**のような書き方です。

これからの社会を担う子どもたちのゆたかな学びを支えるためにも、最新の学問の成果を反映させた、**真実を伝える教科書**を選びたいものです。

● 「育鵬社」の教科書を使っている地区の先生と保護者の声



先生

歴史学の最新の成果が反映されず、間違いが多くて困ります。世界史の記述が他の教科書より少ないのも難点です。



保護者

この教科書では受験の時に困ると思い、他の参考書を買って勉強させました。